

今後の進め方等について

1 基本計画の中間評価について

(1) 目的等

基本計画について、事務局としては、策定当初と比較して社会経済情勢が大きく変化していること等を踏まえ、計画の見直しが必要であると認識している。

しかし、どの程度の見直し作業が必要であるかについては、以下に示す「中間評価」の結果等を踏まえて、検討を進めていきたい。

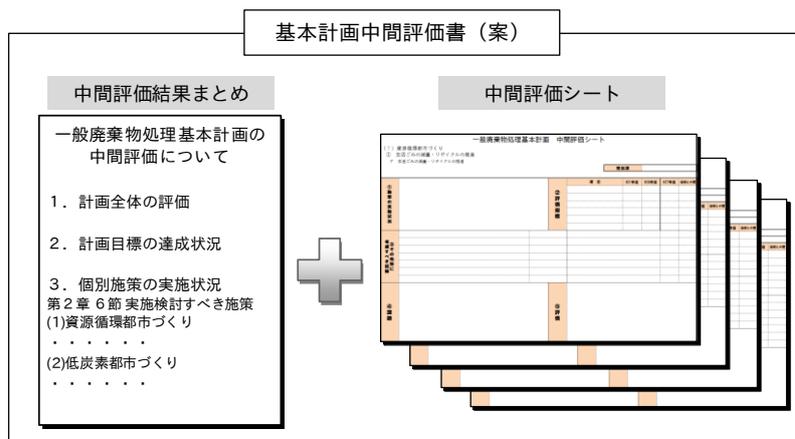
(2) 実施方法等

【作業 1】各種施策の実施状況等の評価に資するため、基本計画第 2 章 6～9 節について、大分類又は中分類を対象として事務局にて中間評価シート（別紙参照）を作成する。

＜基本計画の構成＞

	大分類	中分類	頁番号
6 節 実施・検討 すべき施策	(1)資源循環都市づくり	①生活ごみの減量・リサイクルの推進	16～18
		②事業ごみの減量・リサイクルの推進	
		③ごみの適正処理体制の確立	
	(2)低炭素都市づくり		18～19
	(3)市民・事業者・市の連携や三者が一体化した施策の推進		19
7 節	処理施設の整備計画		20
8 節	処理体制		21
9 節	計画の進行管理と施策の推進		21

【作業 2】中間評価シートを活用し、各種施策の実施状況や目標達成状況を含めた計画全体についての評価をまとめた「基本計画中間評価書（案）」を 8 月上旬までに作成する。



【作業 3】「中間評価書（案）」について審議会委員への郵送等による意見照会を実施する。委員からの意見を踏まえ、8 月下旬に「基本計画中間評価書」をとりまとめる。

2 今回の審議会における主な論点等について

計画策定から4年余が経過し、資料2「4 現時点での課題等」に記載したとおり、既に課題・論点の幾つかが明らかになっている。今回の審議会では、既に明らかとなっている以下の課題・論点等を中心にご審議いただきたいと考えている。

主な課題	主な論点
中間評価の手法及び対象等について	評価手法、評価対象は適当か。
現状と目標値の乖離への対応について	将来推計人口の見直しは必要か。 目標項目や目標値の見直しは必要か。 目標の達成に向けた新たな取り組みは何か。
家庭ごみへの 資源物混入率の増加への対応について	資源物の更なる分別に向けて、どのような対応をすべきか。 集合住宅への働きかけなど居住形態別の働きかけについて、どのような対応をすべきか。
事業ごみの量及び資源物混入率の 高止まりへの対応について	事業ごみの減量や、資源物の更なる分別に向けて、どのような対応をすべきか。 廃棄物系バイオマス（生ごみや剪定枝など）の民間リサイクル施設誘導はどのように進めるべきか。
処理施設の老朽化について	施設の更新や改良等はどのように進めるべきか。
その他の個別施策等 (基本計画本文中に記載している事項)	<ul style="list-style-type: none"> 生活系紙類収集体制のあり方について 経済的インセンティブの有効性について 再生可能紙類の搬入禁止措置の徹底について

3 今後のスケジュール（案）

7月	平成27年度第1回廃棄物対策審議会
8月上旬	中間評価書（案）の作成及び審議会委員への意見照会
8月下旬	中間評価書とりまとめ
9月中旬	第2回廃棄物対策審議会（中間評価書・今後の方針（修正案骨子）提示）
10月	基本計画の見直しに係る骨子案とりまとめ
10月～11月	基本計画の見直しに係る市民意見募集及び市民説明会の実施
12月下旬	第3回廃棄物対策審議会（見直し案）
平成28年2月	基本計画見直し案（最終案）とりまとめ
3月	基本計画見直し

仙台市一般廃棄物処理基本計画中間評価書（案）に関する意見（様式例）

別添の中間評価書（案）をご覧ください、①中間評価書（案）全体に対するご意見、②個別施策及び各中間評価シートに対するご意見、③その他お気づきになったこと、について以下の記入欄にご記入ください。

記入欄が不足する場合など、必要に応じて、別紙（様式自由）を添付していただいても構いません。特にご意見等のない場合には、記入欄に“意見なし”等にご記入ください。

委員名

①中間評価全体に対するご意見

②個別施策及び各中間評価シートに対するご意見

※ ご意見の対象箇所が分かるよう、中間評価シートの番号も合わせてご記入ください。

（例）【② シート1】 若年層のうち、特に学生への紙類分別徹底を今後の課題とすべきと考える。

③その他お気づきになったこと（自由意見）